

令和5年度
静岡県西部・中東遠地域大規模氾濫減災協議会
遠州流域治水協議会

企業BCP(水害版)作成支援の取組

企業BCP(水害版)作成支援の取組

- 浜松商工会議所と浜松河川国道事務所の協働で、商工会議所所属企業を対象に、**企業BCP(水害版)作成勉強会**を、令和6年2月1日、2月28日、3月5日に開催しました。
- 勉強会では、基本編として、自社周辺の水害リスクの理解を深める座学に加え、実践編として、BCP作成支援ツールを用いたBCP作成演習およびBCP作成上の疑問点・工夫点などを共有するグループワークを実施しました。また、発展編では、BCP作成後における課題や取り組みについて考えるグループワークを実施しました。

回	テーマ	プログラムの概要
第1回勉強会 令和6年2月1日(木)	これだけは備えたい！水害対策-BCP(事業継続計画)～基本編～ 水害リスクの認知	<ul style="list-style-type: none">・ 水害版BCP作成の必要性・ 水害リスクとハザードマップ、水害リスクマップの読み方・ BCP作成支援ツールを用いた水害版BCP作成の流れ・ BCP作成の考え方・ポイント
宿題	第2回勉強会までに、第1部勉強会の内容を踏まえ、以下項目について、BCP作成支援ツールの入力を依頼 ➢ BCP基本方針の検討 ➢ 水害リスクの把握 ➢ 重要業務の選定	
第2回勉強会 令和6年2月28日(水)	これだけは備えたい！水害対策-BCP(事業継続計画)～実践編～ 重要業務とそれに対する事前対策等の検討	<ul style="list-style-type: none">・ 第1回勉強会内容のおさらい・ 被害想定と対策・ BCPの定着・見直し・ グループワーク
第3回勉強会 令和6年3月5日(火)	BCPを再チェック！水害対策-BCP(事業継続計画)～発展編～ BCPのフォローアップ	<ul style="list-style-type: none">・ 作成したBCPのふりかえり・ グループワーク・ 質疑応答・ BCP作成後の取り組み

浜松商工会議所所属企業を対象とした企業BCP作成支援勉強会を実施（第1回）

令和6年2月1日、浸水被害の軽減・早期復旧を図るための取り組みとして、浜松市の地域経済を支える**浜松商工会議所の所属企業(31社)**を対象に、**企業BCP作成支援の勉強会を開催しました**。本講座は、WEB方式併用により行いました。

【開催概要】

- 日 時：令和6年2月1日(木) 13:30～15:00
- 会 場：浜松商工会議所 10階BC会議室、WEB併用開催 (Zoom)
- 参加者：浜松商工会議所所属企業33社36名(会場：14名 WEB22名)
- 開催テーマ：これだけは備えたい！水害対策-BCP(事業継続計画)～基本編～
- 実施内容：1. 水害版BCP作成の必要性
2. 水害リスクとハザードマップ、水害リスクマップの読み方
3. BCP作成支援ツールを用いた水害版BCP作成の流れ
4. BCP作成の考え方・ポイント
- 配布資料：これだけは備えたい！水害対策-BCP(事業継続計画)～基本編～

目次

1. 水害版BCP作成の必要性
2. 水害リスクとハザードマップの読み方
3. BCP作成支援ツールを用いた水害版BCP作成の流れ
4. BCP作成の考え方・ポイント
5. おわりに



2. 水害リスクとハザードマップの読み方

(2) 水害リスク把握手段

① 水害のリスクは、ハザードマップでも把握することができる
② 浜松市防災マップやハザードマップポータルサイト「重ねるハザードマップ」で水害リスクを把握可能である

3. BCP作成支援ツールを用いた水害版BCP作成の流れ

(3) 水害版BCPの作成支援
【ツールのコンセプト】

- ・ 企業における水害のリスクを知る。
- ・ 社員の命を守り、重要業務に最低限必要なことを把握する。
- ・ 水害リスクを考え、簡易的な操作で水害版BCPを作成できるようにする。

コントロールシート

水害版BCP様式

・ コントロールシートに浸水深や体制などを入力すると水害版BCPの様式に自動的に反映されます。

4. BCP作成の考え方・ポイント

3.被害想定 浸水想定

【参考】浜松市 防災マップの使用方法

手順① 手順② 手順③ 手順④ 手順⑤ 手順⑥

会社の位置に地図を移動して、一度り最大規模をクリック。一番影響が大きいと想定される河川の「最大想定規模」を適定してください。

虫眼鏡をクリック、「想定最大規模」で検索

凡例の文字をクリックすると凡例が表示されます。

【勉強会の様子・アンケート結果】

- ・作り込まれた資料で、内容が解りやすく、とても参考になりました。天竜川への認識も変わりました。
- ・何から始めたらいいかわからなかったのが、参考になりました。
- ・今回は水害に対する内容でしたが地震に対する内容があれば参加したい
- ・作成支援ツールがあり、作成の流れがよくわかりました。



浜松河川国道事務所 流域治水課からの説明の様子



会場の様子

【今後の予定】 令和6年2月28日に、第二部の勉強会を開催予定です。

回	プログラム概要	成果
第1回勉強会 2/1	<ul style="list-style-type: none"> ・水害版BCP作成の必要性 ・水害リスクとハザードマップ、水害リスクマップの読み方 ・BCP作成支援ツールを用いた水害版BCP作成の流れ ・BCP作成の考え方・ポイント 	<ul style="list-style-type: none"> ●BCP作成の必要性を理解する ●自社周辺の水害リスクの理解を深める ●重要業務選定のポイントを理解する
リスクを知る	第2回勉強会までに、第1部勉強会の内容を踏まえ、以下項目について、BCP作成支援ツールの入力を依頼	
宿題	<ul style="list-style-type: none"> ➢ BCP基本方針の検討 ➢ 水害リスクの把握 ➢ 重要業務の選定 ※第2部勉強会開催まで、メールにて問い合わせ対応	
第2回勉強会	<ul style="list-style-type: none"> ・宿題の内容のおさらい ・被害想定と対策 ・BCPの定着・見直し ・ミニグループワーク 	<ul style="list-style-type: none"> ●水害に対する企業のリスクと現状対応可能な対策を明らかにする ●他社の対策を知ることで、自社の対策を振り返る
リスクに備える		

浜松商工会議所所属企業を対象とした企業BCP作成支援勉強会を実施（第2回）

令和6年2月28日、浸水被害の軽減・早期復旧を図るための取り組みとして、浜松市の地域経済を支える**浜松商工会議所の所属企業（計7社9名）**を対象に、**企業BCP作成支援の勉強会を開催しました。**

【開催概要】

- 日 時：令和6年2月28日（水） 13:30～16:00
- 会 場：浜松商工会議所 10階B・C会議室
- 参加者：浜松商工会議所所属企業：7社9名
- 開催テーマ：これだけは備えたい！水害対策-BCP(事業継続計画) ～実践編～
- 実施内容：1. BCP作成支援ツールを用いたBCP作成
2. グループワーク
- 配布資料：これだけは備えたい！水害対策-BCP(事業継続計画) ～実践編～
水害版BCP作成支援ツール 記入例
グループワークシート、リアクションカード

【勉強会の様子】

事務局より水害版BCP作成支援ツール(エクセル)を用いたBCP作成上の留意点について、事例紹介を交え説明しました。参加者には実際にツールを操作しながら、BCPを検討いただきました。
また、勉強会後半のグループワークでは、各企業の検討状況や工夫点・疑問点等について、意見交換を行いました。



説明状況



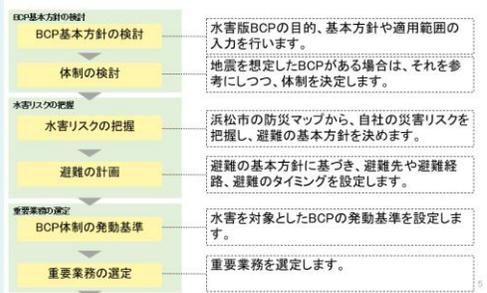
BCP作成支援ツールを用いた
BCP作成状況



グループワークの様子

はじめに

水害版BCP作成支援ツールにおけるBCP作成の流れ(事前学習部分)



BCP作成支援ツールを用いたBCP作成～実践～ 5 重要業務の選定

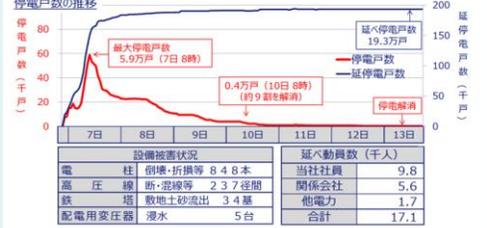
(1)BCP体制の発動基準



- ・ BCP発動のタイミングを定めてください。
- ・ 警戒レベル3とした場合、避難までの時間が比較的多いため、水害の対策を実施する時間が多くなりますが、年間で何度も発動することになります。
- ・ 警戒レベル4に設定した場合は、水害の対策を実施する時間が短くなりますが、発動する頻度は、警戒レベル3よりも少なくなります。

BCP作成支援ツールを用いたBCP作成～実践～ 6 被害想定と対策

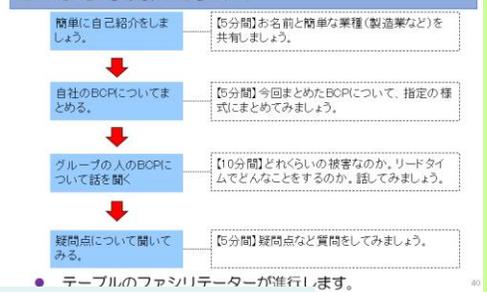
(1) インフラへの影響想定



・平成30年7月豪雨災害では、停電解消まで6日間かかった。

8. ワークショップについて

どのような流れですか？



【アンケート結果】

参加者の皆様から以下のような感想・ご意見をいただきました。

- ・ 分からない部分や入力に困る部分があった時に、スタッフの方が丁寧に教えて下さった。
- ・ BCP作成支援ツールの例で、業種ごと(製造・サービスなど)で提示していただければと思った。
- ・ ツールをもらえるのは、ありがたい。
- ・ 水害限定ではなく、災害全般のBCP勉強会の開催を希望する。
- ・ 水害以外のBCPの勉強会があればよい。

企業BCP作成支援勉強会を通じて、参加者が水害リスクへの具体的な対策や今後必要な取り組みを把握・共有することができ、企業BCP作成が促進され、地域防災力の向上につながった

浜松商工会議所所属企業を対象とした企業BCP作成支援勉強会を実施

令和6年3月5日、浸水被害の軽減・早期復旧を図るための取り組みとして、浜松市の地域経済を支える**浜松商工会議所の所属企業(計6社7名)**を対象に、**企業BCP作成支援の勉強会を開催しました。**

- 【開催概要】**
- 日 時: 令和6年3月5日(火) 13:30~15:30
 - 会 場: 浜松商工会議所 10階B・C会議室
 - 参加者: 浜松商工会議所所属企業: 6社7名
 - 開催テーマ: **これだけは備えたい! 水害対策-BCP(事業継続計画) ~発展編~**
 - 実施内容: 1. グループワーク
2. グループワーク結果発表
 - 配布資料: **これだけは備えたい! 水害対策-BCP(事業継続計画) ~発展編~**
グループワークシート
リアクションカード

【勉強会の様子】

事務局より水害リスク、経営資源への影響、BCP対策にあたっての課題等について、事例紹介を交え説明しました。勉強会後半のグループワークでは、「自社の従業員の命をまもるための課題」と「自社のモノをまもるための課題」について、ワークシートを使って、自社における課題を考え、グループ内および参加者全体で共有しました。

また“いまできること”や“小さなことの積み重ね”をテーマに今後すべきことの事例紹介を行いました。

その後、各課題に対し、今後やるべきことを参加者自身で考え、「従業員の帰宅判断の明確化」や「訓練の実施」等が挙げられました。

はじめに

回	プログラム概要	成果
第1部 勉強会 2/1 リスクを知る	<ul style="list-style-type: none"> 水害BCP作成の必要性 水害リスクとハザードマップの読み方 BCP作成支援ツールを用いた水害BCP作成の流れ BCP作成の考え方・ポイント 	<ul style="list-style-type: none"> BCP作成の必要性を理解する 自社周辺の水害リスクの理解を深める 重要業務選定のポイントを理解する
第2部 勉強会 2/2 リスクに備える	<ul style="list-style-type: none"> 第2部勉強会までに、第1部勉強会の内容を踏まえ、以下項目について、BCP作成支援ツールの入力に依頼 BCP基本方針の検討 水害リスクの把握 重要業務の選定 	<ul style="list-style-type: none"> 水害に対する企業のリスクと現状対応可能な対策を明らかにする 他社の対策を知ること、自社の対策を振り返る
第3部 勉強会 2/3 ふりかえる	<ul style="list-style-type: none"> 第1部勉強会内容のおさらい 被害想定と対策 BCPの定着・見直し グループワーク 	<ul style="list-style-type: none"> 水害に対する企業のリスクと現状対応可能な対策を明らかにする 他社の対策を知ること、自社の対策を振り返る
第3部 勉強会 2/3 ふりかえる	<ul style="list-style-type: none"> 作成したBCPのふりかえり グループワーク 質疑応答 BCP作成後の取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> 他社の課題を知ることで、自社の課題を振り返る BCPの深化を図る BCP作成後の取り組みを理解する

- 経営資源: 「人」、「モノ」、「情報」とは?**
- 人
 - 最も重要な経営資源。人がいなければ防災対策が進まない。
 - どんなに機械化が進もうと、どんな最先端の設備や機器が揃えられようとも、人がいなければそこはモノの役割が半減し、意味がない。
 - モノ
 - 「モノ」には製品もあれば、製品づくりに活用される機器類だけではない。
 - 自然災害などに備えるという点では、自家発電装置、排水ポンプ、火災報知器、スプリンクラー、止水板、制震・免震装置なども大切な経営資源。
 - 情報
 - 企業が持つノウハウ、顧客データのほか、地域やコミュニティとのつながりなど、無形の資産も多分に含まれる。
 - 災害直前の雨や川の情報、災害発生後の従業員の安否や被害状況も含まれる。



説明状況

グループワークの様子

ワークショップについて

【第3回勉強会におけるグループワークのテーマ】

- ① **自社の従業員の命をまもるための課題**
 発災直後における従業員の安全確保、安否確認、社員への社員招集・帰宅指示等を行うための事前準備(連絡手段の確保/モノの準備/ルール/避難スペースの確保等)に関する心配ごと、困っていることについて意見交換を行う。
- ② **自社のモノをまもるための課題**
 発災直後におけるPC、車両、非常食を保護するための事前準備(リスト化/置き場所/保護するためのモノの準備/ルール)に関する心配ごと、困っていることについて意見交換を行う。

BCP対策にあたっての解決策

平常時から使っている連絡ツールの活用

多くの人が使い慣れているため手軽に操作できる、安否確認の連絡が見逃される可能性が低い、既読機能で安否が分かる等のメリットを有する。

緊急時に役立つLINEの使い方

災害などの緊急時における「ネットライン」としてのLINE活用①

■ 業務連絡のコミュニケーション手段としての活用

LINEオープンチャットの活用②

- ・トークルームごとにプロフィールを設定可能(メンバーの所属部署や所属部署など)
- ・オープンチャット専用のメンバーリスト機能(メンバーの所属部署や所属部署など)
- ・グループごとに最大1000人まで参加可能
- ・誰でもグループ参加して、連絡のやり取りが可能
- ・トークルームごとに設定可能なグループアイコン

【参加者の意見・感想】

参加者の皆様から以下のような感想・ご意見をいただきました。

- ・水害BCPの対応がうまく進めていない状況だったので、参考にさせていただきます。ありがとうございました。
- ・具体的な対応事例を紹介してもらった。もっと紹介してほしい。
- ・他の会社の意見が聞けて参考になった。

参加者が、BCP作成後における課題や取り組みについて考え、BCPを作成するだけでなく、勉強会を通じ、BCPを運用することも視野に入れることができた。